



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社ワンキャリア 上場取引所 東
コード番号 4377 URL <https://onecareer.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員CEO （氏名）宮下 尚之
問合せ先責任者 （役職名）執行役員CFO （氏名）木村 智明 TEL 03 (6416) 4088
半期報告書提出予定日 2025年8月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（当社ホームページに決算説明動画を掲載予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期中間期	4,012	44.8	1,364	49.3	1,368	49.7	964	50.3
2024年12月期中間期	2,770	26.9	913	23.2	914	23.3	641	21.4

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	53.84	52.21
2024年12月期中間期	36.29	34.93

（注）当社は、2025年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間純利益を算定しております。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		％
2025年12月期中間期	8,070		4,909		60.8
2024年12月期	5,733		4,044		70.5

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 4,909百万円 2024年12月期 4,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2025年12月期	—	0.00			
2025年12月期（予想）			—	14.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年12月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しており、2025年12月期期末の配当金予想については、当該株式分割後の配当金の額を記載しております。

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,427	37.5	1,857	43.3	1,856	43.1	1,308	41.7	73.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
当社は、2025年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記（4）中間財務諸表に関する注記事項（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	18,001,125株	2024年12月期	17,830,770株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	4,911株	2024年12月期	3,111株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	17,916,367株	2024年12月期中間期	17,682,498株

（注）当社は、2025年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国の経済は、春闘の結果を反映した賃上げへの動きや、好調な企業収益による企業の高い投資意欲を背景に、雇用・所得環境は改善し、緩やかな景気回復の動きがみられました。しかしながら、継続する物価上昇や米国の関税政策による影響の懸念等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

人材採用領域においては、有効求人倍率（季節調整値）は2025年5月には1.24倍となり、人材需要は継続して堅調に推移しております。また、オンラインの採用活動が企業の採用プロセスとして定着しており、企業の採用DXへの需要は堅調に推移しております。

このような環境の中、当社は積極的な法人向けのマーケティング活動等で新規取引先との接点を増やし、求人掲載サービスやスカウトサービスの販売に繋げました。さらに、地域・業界・職種等の特定カテゴリの学生・企業の抱えるニーズに合致したサービスを強化し、会員数及び法人顧客数拡大に注力しております。

当中間会計期間において会員数は2,171千人（前年同期比333千人増）、法人取引累計社数は5,204社（前年同期比1,572社増）となりました。

以上の結果、当中間会計期間における売上高は4,012,470千円（前年同期比44.8%増）、営業利益1,364,197千円（前年同期比49.3%増）、経常利益は1,368,854千円（前年同期比49.7%増）、中間純利益は964,628千円（前年同期比50.3%）となりました。

なお、当社はキャリアデータプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間会計期間末における総資産は8,070,487千円となり、前事業年度末に比べ2,337,080千円増加しました。

流動資産は6,830,508千円となり、前事業年度末に比べ2,147,311千円の増加となりました。これは主に現金及び預金1,917,862千円の増加、売掛金174,328千円の増加によるものであります。

固定資産は1,239,979千円となり、前事業年度末に比べ189,768千円の増加となりました。これは主に敷金及び保証金86,656千円の増加、有形固定資産74,164千円の増加によるものであります。

（負債）

当中間会計期間末における負債は3,161,121千円となり、前事業年度末に比べ1,471,838千円増加しました。

流動負債は3,147,128千円となり、前事業年度末に比べ1,462,203千円の増加となりました。これは主に契約負債1,125,013千円の増加、未払金147,425千円の増加、未払法人税等144,182千円の増加によるものであります。

固定負債は13,992千円となり、前事業年度末に比べ9,634千円の増加となりました。これはリース債務9,634千円の増加によるものであります。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産合計は4,909,366千円となり、前事業年度末に比べ865,242千円増加しました。これは主に剰余金の配当による利益剰余金178,276千円の減少があった一方で、中間純利益の計上による利益剰余金964,628千円の増加によるものであります。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べて、1,917,862千円増加し、6,227,523千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2,250,755千円（前年同期は1,318,384千円の収入）となりました。これは主に、法人税等の支払額259,903千円、売上債権の増加額174,328千円があった一方で、税引前中間純利益1,368,854千円、契約負債の増加額1,125,013千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は196,123千円（前年同期は199,787千円の支出）となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出93,235千円、無形固定資産の取得による支出63,469千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は136,769千円（前年同期は27,375千円の収入）となりました。これは主に、ストックオプションの行使による収入43,327千円があった一方で、配当金の支払額178,235千円があったことによるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当中間会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,309,661	6,227,523
売掛金	253,857	428,186
棚卸資産	8,246	13,259
その他	111,430	161,539
流動資産合計	4,683,196	6,830,508
固定資産		
有形固定資産	201,773	275,938
無形固定資産	280,700	295,627
投資その他の資産		
投資有価証券	186,164	194,024
敷金及び保証金	295,860	382,517
その他	85,710	91,871
投資その他の資産合計	567,735	668,413
固定資産合計	1,050,210	1,239,979
資産合計	5,733,406	8,070,487
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,151	71,388
短期借入金	100,000	100,000
リース債務	1,560	6,032
未払金	249,669	397,094
未払法人税等	259,903	404,085
契約負債	789,042	1,914,056
賞与引当金	14,962	23,361
その他	213,634	231,108
流動負債合計	1,684,925	3,147,128
固定負債		
リース債務	4,357	13,992
固定負債合計	4,357	13,992
負債合計	1,689,283	3,161,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,792	18,364
資本剰余金	1,575,949	1,655,299
利益剰余金	2,449,793	3,236,145
自己株式	△406	△406
株主資本合計	4,044,128	4,909,403
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5	△36
評価・換算差額等合計	△5	△36
純資産合計	4,044,123	4,909,366
負債純資産合計	5,733,406	8,070,487

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,770,458	4,012,470
売上原価	393,975	545,030
売上総利益	2,376,483	3,467,439
販売費及び一般管理費	1,462,952	2,103,242
営業利益	913,530	1,364,197
営業外収益		
受取利息	0	1,331
雑収入	2,122	4,604
その他	56	958
営業外収益合計	2,178	6,895
営業外費用		
支払利息	385	530
投資事業組合運用損	248	596
譲渡制限付株式報酬償却損	400	474
雑損失	0	596
その他	18	39
営業外費用合計	1,053	2,237
経常利益	914,656	1,368,854
税引前中間純利益	914,656	1,368,854
法人税等	272,933	404,226
中間純利益	641,723	964,628

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	914,656	1,368,854
減価償却費	52,305	65,602
受取利息及び受取配当金	△0	△1,331
支払利息	385	530
株式報酬費用	8,742	12,568
投資事業組合運用損益 (△は益)	248	596
売上債権の増減額 (△は増加)	△169,796	△174,328
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△13,987	△5,012
仕入債務の増減額 (△は減少)	28,934	15,236
契約負債の増減額 (△は減少)	624,875	1,125,013
未払金の増減額 (△は減少)	56,165	102,555
その他	9,081	2
小計	1,511,611	2,510,289
利息及び配当金の受取額	0	917
利息の支払額	△399	△548
法人税等の支払額	△192,827	△259,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,318,384	2,250,755
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△24,328	△30,562
無形固定資産の取得による支出	△39,559	△63,469
投資有価証券の取得による支出	△36,364	△8,554
敷金及び保証金の差入による支出	△99,535	△93,235
その他	—	△300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199,787	△196,123
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	—	△178,235
リース債務の返済による支出	—	△1,861
ストックオプションの行使による収入	27,375	43,327
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,375	△136,769
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,145,971	1,917,862
現金及び現金同等物の期首残高	3,186,669	4,309,661
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,332,641	6,227,523

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、キャリアデータプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当中間会計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ21,663千円増加しております。

また、2025年5月16日付で譲渡制限付株式報酬としての新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ17,797千円増加しております。

そして、2025年3月26日開催の定時株主総会決議に基づき、2025年6月1日付で減資の効力が発生し、資本金の額が39,889千円減少、その他資本剰余金の額が39,889千円増加しております。

これらにより、当中間会計期間末において、資本金が18,364千円、資本剰余金が1,655,299千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。